

令和3年度 障がい福祉課の取組について

1 障がい者が愛着のある吉川市で親亡き後も安心して暮らしていくためのサポート基金（ノブくんスマイル基金）

1) 概要

令和3年3月市が擁護していた障がい者の保護者から、市への感謝の意と福祉施策の充実に寄与したいと1,800万円の寄付をいただき、これを原資に「障がい者が愛着のある吉川市で親亡き後も安心して暮らしていくためのサポート基金条例」を制定。

2) 基金の活用方法

寄付者の意向を反映し、寄付金を原資とした基金により「グループホーム（以下、GHという。）の設置」と「障がい者の就労」を支援する補助金制度を策定予定。障がい者を支援するとともに、基金の目的に賛同する寄付を幅広く募ることで、基金を長きに亘り運用し障がい者を支援していく。

3) 寄付件数及び総金額（令和3年度）

6件、895,000円

2 障がい者の地域での生活を考える検討会議

1) 委員構成（令和3年度から新たな委員で構成）

社会福祉法人葎の里、社会福祉法人彩凜会、一般社団法人カルミア、ヒューマニティアシスト合同会社、吉川市手をつなぐ育成会、しらこぼと会、埼玉県立三郷特別支援学校、埼玉県立越谷特別支援学校、ハローワーク越谷、東埼玉テクノポリス協同組合、コーワプラス株式会社、埼玉県障害者雇用総合サポートセンター、吉川市農業活性化検討会議委員、吉川市障がい者計画推進委員、障がい者当事者

2) 開催日時及び会議内容

	開催日	会議内容
第1回	6月30日	障がい者の就労支援・新たな就労支援策のイメージ
第2回	8月23日	新たな就労支援策（案）について
第3回	11月30日	グループホーム設置促進に係る支援策について

3) 障がい者の就労支援策

・職場実習協力金・応援金

1日3時間以上、週1日以上職場実習を行った場合、障がい者本人及び実習を受け入れた企業に応援金及び協力金を補助する。

・就労初期支援金

雇用から半年間、就労定着支援事業所等が就労先に出向いて行う等の支援を実施した場合に月4回を限度として事業所等へ支援金を補助する。

4) グループホーム設置促進支援策

検討会議の中で、意見を聞きながら、令和4年度に補助金制度を設計する予定。

3 よしかわ市障がい者スポーツアート展

1) 概要

コロナ禍のため「屋内スポーツ大会」を中止する代わりに、障がいのある方もない方も共に交流できる場所や障がいのある方の潜在的な力を発揮できる機会を提供し、多くの方が障がい者福祉への関心と理解を深めることを目的として、市内在住・在勤・在学の障がいのある方から「絵(イラスト)」、「工作」、「写真」の3つの部門についてスポーツを題材としたアート作品を募集し、作品の展示と投票を実施。部門ごとに投票数の多い上位作品に賞や記念品を贈呈した。

2) 実施期間・場所・投票方法

期間：12月3日(金)～24日(金)(土・日を除く)

場所：市役所1階障がい福祉課窓口前、市ホームページ

投票方法：会場にて直接、または市ホームページ上で電子投票

3) 応募作品数・総投票数

作品数：絵(イラスト)部門27作品、工作部門5作品、写真部門8作品

総投票数：直接136票、ホームページ50票

4 吉川市子ども発達センターでの保育所等訪問支援の開始

吉川市子ども発達センターでは、通所する児童の半数以上が保育所等に通っており、事業においても保育所等の集団生活に適応できるよう支援をしている。

「保育所等訪問支援事業」は、保護者から利用申込みを受け、児童が通所する保育所や幼稚園等の集団生活の場を訪問支援員が直接訪問し、対象児童及び担当保育士に対し、集団適応を促すための個別的な支援を行っている。

保育所等訪問支援実施件数 59件(令和3年4月から令和4年1月まで)

5 障がい者の就労支援

1) 障がい者雇用 はじめてガイド作成

障がい者雇用を促進するために、企業向けに「障がい者雇用はじめてガイドわーくWORK」を自立支援協議会就労部会で作成し、市商工会を通じて市内企業に配布した。

2) 三郷特別支援学校 就労体験実習の受け入れ

庁舎内において、高等部2年生1名の就労体験実習を実施した。

3) 合同就職面接会

商工課が毎年主催している合同就職面接会において、市内企業における障がい者就労の充実を目的に令和3年度から障がい者雇用枠を設け、令和4年1月19日に中央公民館で開催した。12社参加のうち4社で障がい者求人を出し、3名の採用につながった。

6 啓発活動

- ① コロナ禍において、マスク着用が困難な方がいることについて HP に掲載した。
- ② 「ほじょ犬マーク」とチラシを市内施設や店舗等に配布するとともに HP に掲載した。
- ③ 令和3年7月から開始された「電話リレーサービス（通訳オペレータが手話・文字と音声とを通訳することにより、聴覚や発話に困難のある方ときこえる方を電話で双方向につなぐサービス）」の紹介を HP に掲載し、啓発した。
- ④ 広報よしかわ12月号に、障がい者の「就労」に関する記事と障がい者のマークに関する記事を掲載した。
- ⑤ あいサポート研修の実施